

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現状は運営理念、三つの誓い、社訓等さまざまな物があり、その全てが職員に浸透していないように感じる。	グループホーム単体での理念をだれでもすぐに覚えられるように作り変える。それにより全職員が念頭に置いて実践に努めるようにする。	自分達で理念を掲げる意識を持ってもらうように職員から意見を引出し、運営理念を来年4月から変更する為、準備をしていきます。三つの誓いと並び唱和できる内容にしていく事で浸透していきます。	6ヶ月
2	5	身体拘束排除については毎年計画的に研修を行い、エレベーター前にも掲示していますが、禁止の対象となる具体的な行為については職員が正しく理解していなかった。	現状では研修内容の中に禁止対象となる具体的な行為の内容は無く、職員にも周知されていなかった。平成30年1月に身体拘束の排除の為の取組みという内部研修の内容に組み込み、周知していきます。	平成30年1月の研修内容に、禁止の対象となる具体的な行為について内容の説明、記入式のテストを行い、今後、全職員が応えられるよう努力していく事で周知する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。